

平成 2 9 年度事業報告

I ツーリズムの創造・発展	
(1) ツーリズム企画推進事業	
<p>① 戦略的なツーリズム企画の推進 (担当：経営) (担当：地域)</p>	<p>事業企画委員会を開催して会員相互の連携による事業企画の推進を図るとともに、県における次年度事業や企画の提案等を行った。</p> <p>○事業企画委員会の開催(平成 29 年 10 月 3 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豪雨対策の状況 ・DMO 候補法人としての取組状況と次年度以降の取組 ・RWC に関する受入態勢等の状況 <p>○各職員における事業等企画提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県政推進指針策定に向けた職員企画の県庁に対する提案
<p>② 各種協議会 (担当：地域) (担当：誘致) (担当：MICE センター)</p>	<p>ツーリズムおおいたが事務局として、各協議会の総会や会議開催及び事業企画の提案を行うなど、円滑な事務局運営に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県ふるさとガイド連絡協議会 ・大分県教育旅行誘致協議会 ・大分県MICE誘致推進協議会 <p>○大分県ふるさとガイド連絡協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会開催(8 月 2 日) 出席者 8 名 ・総会開催(8 月 2 日) 出席者 57 名 昨年度の事業報告、今年度の事業計画(案)承認 まち歩き動画の紹介やグループ討論を実施 ・九州観光ボランティアガイド研修会実行委員会参加 ・第2回都道府県観光ボランティアガイド連絡協議会代表者会議 九州代表として取組事例を発表、意見交換会を実施 <p>○大分県教育旅行誘致協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会開催(7 月 28 日) 出席者 21 名 ・修学旅行誘致セールス実施(4 月～11 月の間に 4 回) セールス地域 鹿児島、広島、大阪、岡山 ・スポーツ合宿誘致セールス実施(11 月 27 日～28 日) セールス地域 大阪 <p>○大分県 MICE 誘致推進協議会開催(2 月 27 日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誘致状況及び取組状況等の意見交換 出席者 12 名
(2) 地域連携事業	
<p>① 六郷満山開山 1300 年誘客キャンペーン事業実行委員会との連携(新) (担当：地域)</p>	<p>平成30年の六郷満山開山1300年のプレ年度として、観光客の受入態勢や環境整備を進める実行委員会等と連携を強化し、特別感の創出や周遊促進素材の充実等による相乗効果の最大化に取り組んだ。</p> <p>また、二次交通整備に向けて、バスやタクシーを活用した実証実験に取り組むなど、地域の実情に適した受入態勢の整備を促進した。</p>

	<p>○六郷満山観光素材集の制作とプロモーション、セールス活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州観光推進機構主催観光素材説明会への参加 29年度下期 東京・名古屋・大阪・広島・福岡 30年度上期 東京・名古屋・大阪・福岡 ・ツーリズムEXPOジャパン2017への共同出展(9月21日～24日) 大分県ブース共同出展、国内AGT個別商談参加 <p>○六郷満山開山1300年プレイベント等実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州国立博物館特別展示(9月13日～11月5日) 大分県「国東宇佐六郷満山展～神と仏と鬼の郷」 総入場者数 62,403名 ・ろくごうライナー運行(10月7日～12月10日) ミニ観光付シャトルバス(別府・由布院⇄空港) 利用実績 なし ・非公開文化財等特別公開&紅葉ライトアップイベントにおける周遊バス運行(10月7日～12月10日) 文化財特別公開(10月7日～12月10日)全5コース 利用実績 7本 63名 ライトアップイベント(10月28日～12月9日)全8コース 利用実績 4本 119名 ○二次交通整備に向けた実証実験(9月1日～12月31日) ・国東半島祈りのタクシー運行(大分空港⇒大分・別府・由布院) 利用実績 5件 14名
<p>② 観光圏等地域連携 観光組織との連携 (担当：地域)</p>	<p>豊の国千年ロマン観光圏との連携では、引き続き協議会に事務局として参画して、六郷満山エリアにおける滞在プログラムの開発など受入態勢整備への支援や相互連携を推進した。</p> <p>○豊の国千年ロマン観光圏のDMO法人化に向けた取組支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光マーケティング会議等を通じた意見交換の実施 ・六郷満山エリアにおける滞在プログラム等の共同開発 開発プログラム数 4プログラム <p>○六郷満山開山1300年誘客キャンペーン実行委員会との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行幸会ウォーク等のイベント開催やガイド研修会支援
<p>③ 県内DMO候補法人・地域観光協会との連携 (一部新) (担当：経営) (担当：地域)</p>	<p>県内市町村や地域観光協会、DMO組織、旅館組合等関係者との新たな合意形成の場を設けるとともに、マーケティングや商品販売等の観光プラットフォーム機能の充実に向け、各地域における取組状況や方向性、役割などの共有を図り、県域での効果的な事業執行と相乗効果を促進した。</p> <p>○観光マーケティング会議の実施(計4回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マーケティング(現状分析、市場調査)の重要性等意識醸成 ・マーケティングカルテ作成と共同調査実施提案、合意形成 ・他組織の取組状況等の情報共有 <p>○WEB販売システムの構築と商品造成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売商品の造成と調整 ・WEBを活用した商品販売 ・日本観光振興協会と連携したマーケティング研修の実施

		<ul style="list-style-type: none"> ○県内観光協会等訪問ヒアリング、意見交換の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・県内各協会におけるマーケティング実施状況等ヒアリング ・各協会における取組や課題等の意見交換と情報共有 ・当法人への要望事項のヒアリング ○地域観光協会と連携した豪雨対策の展開 <ul style="list-style-type: none"> ・県内観光協会による復興対策の連動実施 ・相互事業の調整、各種会議の誘致
	<p>④ 国民文化祭等との連携（新）</p> <p>（担当：経営）</p> <p>（担当：地域）</p> <p>（担当：誘致）</p>	<p>第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭での来県者の県内周遊を促進するため、事務局と連携した地域毎の周遊商品検討や素材集制作など、カルチャーツーリズムの推進に取り組んだ。</p> <p>また、大分県立美術館や芸術文化関連機関と連携して、企画展の情報発信や旅行会社における商品造成を促進した。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭と連携したカルチャーツーリズムの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・県内周遊モデルコースの設定協議、観光素材の提供 ・着地型商品造成、販売検討会等での事務局支援（5回） ・旅行会社向け観光素材集制作における相互連携 ○県立美術館と連携した誘客対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ジブリ展等各種企画展を活用したWEBやSNS等での情報発信 ・旅行会社向け観光素材集掲載に向けた情報交換

II 地域マネジメントの推進

県域版DMO組織としてのプラットフォーム機能を効果的に発現するため、商品企画や販売、マーケティングなどの機能強化を図るとともに、域内のDMO組織や観光協会、関係団体等との連携を強化し、観光客の誘致活動や受入態勢整備等を促進した。

(1) DMO推進事業

<p>① 商品企画・販売機能の強化（新）</p> <p>（担当：地域）</p>	<p>おんせん県グッズ等の物販と地域における着地型旅行商品を一元的に販売できるWEB販売システム「テッパン！おおいた」を構築するとともに、観光関係者等と連携して、県内の各観光地を結ぶ周遊企画商品の造成、県内周遊を促進する環境の整備に取り組んだ。</p> <p>○WEB販売プラットフォーム「テッパン！おおいた」の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売システムの企画提案競技実施、委託業者決定(9月1日) 予約販売とキュレーションメディアを活用した地域参画型を採用 ・旅行商品販売検討会の開催(1月11日) モニターツアー、本稼働に向けた商品内容協議、意見交換 ・モニターツアー試行販売(2月16日～) ツアー設定数 5コース10本、延べ参加者数 284名 設定内容 津久見河津さくら観賞ツアー 2本 修正鬼会见学ツアー(天念寺・成仏寺)2本 姫島・宇佐コース 3本 天領「日田」おひな巡り、おおよま梅まつり 3本 ・システム本稼働(3月7日～) 着地旅行商品販売(代理販売含む)、おんせん県グッズ等物販
<p>② マーケティング機能の強化（新）</p> <p>（担当：地域）</p>	<p>マーケティング会議を設置・開催し、市町村や地域観光協会、旅館組合や商工関係者等との検討・協議を行い、より迅速に必要なマーケティング情報の提供に向けた環境整備に取り組んだ。</p> <p>また、戦略の立案に必要なマーケティングを実施するため、データ保有が少ない訪日外国人観光客の動態調査を実施した。</p> <p>○観光マーケティング会議(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キックオフミーティング開催(6月21日) 参加者 52名 県域版 DMO 事業計画、マーケティングの重要性、観光マーケティング会議の目的と機能説明 ・第1回会議開催(8月28日) 参加者 48名 県域における統一的な観光統計調査のあり方検討 沢登次彦氏(じゃらんリサーチセンター長)基調講演 「データ分析より導き出される“地域のポテンシャル”を活かした観光振興とマーケティング」 ・第2回(11月1日) 参加者 48名 統一実施調査、県内市町村カルテ内容等の検討協議 ・第3回(1月23日) 参加者 44名 県内市町村カルテ活用方法の共有 WEB マーケティング関連基調講演(日本観光振興協会共催) 「WEBを活用したプロモーション・商品販売」

		<p>講師 (株)マーケティング・ボイス 鶴本浩司 氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回(3月1日)参加者40名 県内市町村カルテ内容協議、次年度計画の共有 <p>○訪日外国人観光客動態調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査(対面アンケート型)の実施 時期 1期(12月16日～17日)、2期(2月3日～4日) 調査地点 大分空港・大分駅・由布院駅・別府駅・鉄輪地域 県内訪日観光客における目的、消費額等の実態調査
<p>(2) 地域磨き対策事業</p>		
<p>① 魅力ある地域・商品づくりの推進 (新) (担当：地域)</p>	<p>ナショナルパーク「国立公園満喫プロジェクト」関係事業の実施、モデルコースの提案やガイド養成等受入態勢整備、プロモーションの実施等において、事務局支援を行った。</p> <p>また、RWCを見据えた富裕層向け小規模クルーズの誘致セールスなど、個人旅行者や訪日外国人観光客の増加に対応できる観光素材の整備を促進し、魅力ある観光地域づくりに取り組んだ。</p> <p>○ナショナルパーク「国立公園満喫プロジェクト」との連動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデルコースやプロモーション方法等を検討 ・ツーリズム EXPO における環境省ブース出展協力 阿蘇くじゅうナショナルパークにおける観光情報発信 ・「国立公園満喫プロジェクト」阿蘇くじゅう地域協議会への参画 協議会、コンテンツづくり全体会議、事務局会議等に参画 ファミトリップ、情報発信事業に関する協議、アドバイス等実施 <p>○RWCを見据えた豪華クルーズ船の誘致活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ船会社セールス訪問(10月22日～29日) 7社 ・クルーズ船会社等による県内視察受入(11月～) 3社 ・クルーズせとうち東京セミナー開催(12月11日) 参加社 クルー関係事業者 13社 28名 ・RWCにおけるOTA(JTB九州)と連携した誘致活動 ・誘致セールスツールの制作 	
<p>② おもてなし体制の強化 (担当：地域)</p>	<p>世界温泉地サミットやラグビーワールドカップを契機とした訪日外国人観光客の取り込みに向け、外国人観光客向け通訳サービス(おんせん県おおいた多言語コールセンター)の充実を図るとともに、周遊ルートの活用促進や各種おもてなし研修等を開催し、県内関係者の受入態勢整備の重要性など意識醸成に取り組んだ。</p> <p>○多言語コールセンターの活用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業説明会を県内6箇所で開催 日田会場(6月27日)県西部振興局 30名 由布会場(6月27日)湯布院コミュニティセンター 33名 宇佐会場(6月28日)県北部振興局 24名 別府会場(6月28日)ビーコンプラザ 51名 竹田会場(6月29日)県豊肥振興局 18名 佐伯会場(6月30日)県南部振興局 10名 ・コールセンター利用登録施設数 394件(3月末現在) 	

	<p>○おもてなし研究会の開催(6月21日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者:市町村観光団体関係者 52名 ・RWC等で来県する旅行者(国内外)の受入 「食」の魅力を伝える手法等について意見交換 <p>○インバウンド向けおもてなし研究会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内6ブロック(振興局単位)での地域開催 国東会場(11月22日) 県東部振興局 15名 佐伯会場(11月29日) 県南部振興局 19名 竹田会場(11月30日) 県豊肥振興局 24名 豊後高田会場(12月6日) 豊後高田市役所 30名 日田会場(12月7日) 県西部振興局 32名 大分会場(12月13日) 県庁新館51会議室 53名 ・インバウンド受入の取組事例の紹介、意見交換 旅館「山城屋」代表 二宮謙児 氏 (株)リクルートライフスタイル 小野 郁 氏 <p>○広域観光周遊ルートシンポジウムの開催(11月17日)</p> <p>広域観光周遊やマーケティング戦略などに関する講演 パネルディスカッションを実施 篠原 文也氏(政治解説者、ジャーナリスト)、 原田 劉 静織(株式会社ランドリーム代表取締役)</p> <p>○RWCに向けた「食」に関する情報発信及び意識醸成 「食ラボ大分」の開催(3月11日) 県産食材を活用した地元シェフによるメニュー開発・試食会、 意見交換会、アンケート等実施</p> <p>○インバウンドセミナー開催(3月16日)</p> <p>欧米・大洋州からの訪日観光客受入におけるセミナーを開催 講師 ポール・クリスティ氏 (The Japan Travel Company、WALKJAPAN 代表) 対象者 宿泊施設、飲食店、観光事業者等県内観光関係者</p>
<p>③ ガイド等観光人材の育成 (担当:地域)</p>	<p>大分県ふるさとガイド連絡協議会の交流研修会を開催し、ガイドの資質向上を図るとともに、ガイド同士の情報やノウハウの交換、活用ツールの充実を図り、ガイド人材の育成に取り組んだ。</p> <p>○ふるさとガイドの資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別府八湯ウォークガイド募集大会への参加(9月30日) ・九州観光ボランティア研修会等への参加(1月25日～26日) ・ガイド交流研修会の実施(2月22日)参加者 113名 県内ふるさとガイド等を対象としたスキルアップ研修 ・まち歩き動画の制作 5市(大分、中津、日田、杵築、国東) ・「Let's 郷!」パンフレットを増刷

(3) 情報収集・発信事業

① 情報発信誌等発行

(担当：地域)

観光情報誌「Gururitto～ぐるり～」の季刊発行、「おんせん県おおいた観光情報公式サイト」(ツーリズムおおいたホームページ)における情報更新頻度の向上による旬な情報、季節を先取りしたタイムリーかつ効果的な情報発信を行った。

また、FacebookやTwitterなどSNSの機動性を有効に活用した情報発信とあわせて、旅行会社やメディアに対する商品の造成・販売に必要な業界向けニュースター(おんせん県 PRESS)を発行し、旅行商品造成や誘客促進に取り組んだ。

○「Gururitto～ぐるり～」発行(県内外の約700ヶ所に配布)

・事業者選定コンペを開催(4月13日)して事業者を決定

・夏号発行(6月30日)5万部

〈特集〉開放感たっぷり!おんせん県の夏
絶景、海・山のアクティビティ&グルメ情報
イベントカレンダー

・秋号発行(9月8日)5万部

〈特集〉聖地へおでかけ。国東半島へ
パワースポットとその周辺立ち寄り情報
ドライブスポット情報、イベントカレンダー

・冬号発行(11月30日)5万部

〈特集〉冬のごほうび旅!トコトン美肌に!
明礬温泉でキレイになろう♪
温泉・グルメ散策、ぜいたく気分満喫ドライブ情報
イベントカレンダー

・春号発行(2月28日)5万部

〈特集〉恋する乙女を後押しする♪おんせん県の春 Trip
花・インスタ映えスポット・グルメ散策、
フラワードライブ情報、イベントカレンダー

○おんせん県おおいた観光情報公式サイトの運営

・各種情報更新頻度の向上、導線の充実

旬の情報ページ、イベントカレンダー写真等を毎日更新
季節毎の特集ページを作成

FacebookやTwitterの更新(週休日、祝祭日除く)

FacebookやTwitterを活用した日本語サイトへの導線確保
バナー広告のセールス実施(新規契約2件)

旅行会社向けページの充実

海外向けサイトの旬な情報や交通機関等情報を随時更新
海外向けFacebookページの充実(月8回更新)

・豪雨災害復興ポータルサイト「今日も元気に営業中!」開設
交通導線、県内イベント情報、お得な観光情報等掲載
注目イベント等のバナー設置

		<ul style="list-style-type: none"> ○ニュースレター(おんせん県 PRESS)を発行 <ul style="list-style-type: none"> ・年間6回を発行予定、現在 5 回発行済み ・第 1 回発行 vol.13 夏(5 月 31 日) 夏のドライブコース、トピックス(夏アクティビティ素材情報)、JR豊肥線沿線モデルコース、六郷満山コラム ・第 2 回発行 vol.14 秋(7 月 31 日) 秋の食情報、トピックス(芸術・文化、花情報等)、六郷満山開山 1300 年プレイベント情報 ・第 3 回発行 vol.15 冬(9 月 29 日) 「日田・由布院・別府」旬のおすすめ情報、秋冬のライトアップ・イベント情報、六郷満山コラム ・第 4 回発行 vol.16 春(11 月 30 日) 日本遺産やばけい遊覧、ひなまつり情報、河津桜、六郷満山非公開文化財特別公開、六郷満山コラム ・第 5 回発行 vol.17 春(1 月 31 日) 花スポット、インスタ映えスポット、グルメ、湯布院旬情報 六郷満山非公開文化財、六郷満山コラム、インフォメーション ・第 6 回発行 vol.18 夏(3 月 27 日) 夏素材「レジャー、観光スポット、グルメ、アクティビティ」 六郷満山コラム、着地型商品紹介 ○旅行会社向けの観光素材集の制作 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年上期観光素材集を制作してセールスを展開 ・平成 30 年下期観光素材集を制作 ○各種パンフレットの改訂
	<p>② 将来のリピーター 確保対策</p> <p>(担当：地域)</p>	<p>大学生観光まちづくりコンテストを開催し、県内外の若者による本県の魅力再発見、観光まちづくりの提案を通じて、将来のリピーター化を促進した。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○大学生観光まちづくりコンテストの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・事前説明会(6 月 16 日)参加者 40 名(8 チーム) 予備審査エントリー希望学生、指導教員への県観光の基礎講座 ・予備審査(8 月 31 日) 応募数 29 チーム 「若者を惹きつけるプラン」又は「訪日外国人を惹きつけるプラン」をテーマとした書類審査を実施 ・大分大会本選(9 月 19 日) 本選 10 チーム 観光庁長官賞(グランプリ) 立命館アジア太平洋大学 プラン「おもてなし大学 in Beppu」 ツーリズムおおいた会長賞 大分県立芸術文化短期大学 プラン「It is possible to “take”」 ・ツーリズム EXPO ジャパン(9 月 23 日)でグランプリプラン発表

<p>③ ツーリズム商談会 (担当：地域)</p>	<p>市町村や観光協会、県内観光関係者等と連携して、招請型商談会を開催し、旅行会社や在日ランドオペレーター等との関係を強化するとともに、旅行商品の造成・観光誘客を促進した。</p> <hr/> <p>○ツーリズム商談会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日程 11月16日(木)～18日(土) プレゼン及び相談会会場(ホルトホール) 交流会会場(レンブラントホテル) エクスカーション(4コース設定) ・参加旅行会社(36社) 国内旅行会社 22社 53名 在京ランドオペレーター 14社 14名 ・参加市町村及び関係団体(20団体)
<p>(4) 農山漁村ツーリズム育成事業</p>	
<p>① 人材育成研修 (担当：地域)</p>	<p>グリーンツーリズム研究会事務局や行政担当者等の商品開発・企画力やセールス力、危機管理等の研修を実施し、地域の受入態勢の資質向上に取り組んだ。</p> <p>また、今後の増加が見込まれる訪日外国人観光客の受入対策としてモニターツアーを実施し、受入時の対応研修と課題抽出を行った。</p> <hr/> <p>○危機管理研修会(9月15日) 参加者数 40名(場所:大分農業文化公園) 基調講演 (一財)都市農山漁村交流活性化機構 花垣次長</p> <p>○大分県農山漁村ツーリズム担当者等研修会(12月20日) 市町村、研究会等担当者向け研修 参加者 33名(場所:大分県土地改良会館)</p> <p>○農山漁村ツーリズムインストラクターレベルアップ研修会(3月15日) 農山漁村ツーリズム推進者のレベルアップ研修 開催場所 大分県庁</p> <p>○APU学生と連携したモニターツアーの実施 訪日外国人観光客受入に伴う研修と課題抽出 実施地域 由布市、臼杵市</p>
<p>② 情報発信 (担当：地域)</p>	<p>外国人観光客の取り込みを見据えた農林漁家体験民宿の紹介など、グリーンツーリズムの魅力を集約したパンフレット改訂、HP情報の充実など、広く情報発信する。</p> <hr/> <p>○グリーンツーリズム素材の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州観光推進機構と連携した商談会、セールス活動を展開 <p>○情報発信の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内向けパンフレット改訂 ・国内向けホームページ改修(3月頃)

Ⅲ 国内観光客の誘致促進

熊本地震からの本格復興及び九州北部豪雨・台風災害からの復興に向け、7月以降の復興対策事業との連動を図りながら、近隣の九州・中四国エリア、交通アクセスが豊富な関西・中部エリア、人口が集中する首都圏を中心とした東日本エリアに対し、各エリアに応じたプロモーションや旅行業界へのセールス展開、強みを生かした旅行会社や交通事業者等との連携を図ることにより、各ターゲットに対して効果的な誘客対策に取り組んだ。

(1) 九州・中四国エリア誘客対策事業

① 九州エリア

(一部新)

(担当：誘致)

熊本地震からの本格復興へのアピール、安定的な誘客が見込める福岡圏域を中心とした誘客の促進、さらには全国からの誘客を促進するため、JR九州や関係機関と連携して大分・熊本誘客キャンペーンに取り組んだ。

また、豪雨対策事業との連動を図りながら、旅行会社と連携して、団体バスツアーや個人客の県内周遊促進型の商品造成・販売支援、県内の各社旅連や県福岡事務所等と連携したセールス・キャラバンを実施した。

○大分・熊本誘客キャンペーンの展開

JR九州「GO!GO!!キスマイ クマモト オオイタキャンペーン」

(7月2日～12月31日)

キャンペーン対象商品送客実績 46,946件

・D&S列車「あそぼ〜い号」別府・大分-阿蘇間運行

・熊本・大分キャンペーンイベント(8月11日～13日) JR博多駅

○旅行会社と連携した団体バスツアー商品造成支援

・第一観光との連携 3商品造成 1,251人送客

○旅行会社等へのセールス、キャラバン等

・福岡エリア旅行会社セールス 13社

・「阪急交通社国内旅行推進協力会九州支部」商談会参加

(6月14日)熊本市 商談 8社

○大分県福岡事務所との連携

・雑誌社等メディアによる取材、情報発信支援

シティ情報ふくおか取材支援(5月31日)

月刊九州王国10月号 観光記事掲載(9月15日)

○九州観光推進機構との連携

・29年度下期観光素材説明会(5月30日 福岡市)

参加社数 30社 参加人数 136名

旅行会社セールス 9社

・30年度上期観光素材説明会(9月27日 福岡市)

参加社数 29社 参加人数 152名

<p>② 中四国エリア</p> <p>(担当：誘致)</p>	<p>フェリー航路に加え東九州道開通を契機に観光流入導線が豊富となった広島・山口県と連携して、相互協力による情報発信、誘客対策を実施するとともに、四国エリアにおいては、豊富な航路を持つフェリー会社や旅行会社と連携した情報発信、誘客に取り組むことで西瀬戸エリアの連携を推進した。</p> <p>また、NEXCO西日本と東九州広域観光推進協議会の連携により、「九州よかよかドライブパス」を活用した中四国エリアからの誘客を促進した。</p> <p>○広島福屋「大分県の物産と観光展」(4月13日～18日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・由布市・大分県物産協会連携メディアキャラバン(4月12日) メディア訪問 2社 <p>○由布市・佐伯市と連携した観光PR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアキャラバン(6月14日～15日、30日) メディア訪問 8社 ・マツダスタジアム観光PRイベント(7月1日) 来場者 31,251人 <p>○お国自慢カードラリーの実施</p> <p>カード使用数 30,250枚(4月15日～平成30年1月8日)</p> <p>○四国エリア主要旅行会社との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県内のフジトラベル店頭キャンペーン開催(7月～9月) キャンペーン期間中の送客数 1,300名 <p>○東九州広域観光推進協議会プロモーション展開(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「九州よかよかドライブパス」(7月15日～12月17日) 利用登録件数 110,825件 <p>○山口県との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉マイスター(北出恭子氏)と連携したWEB情報発信 ・大分県、山口県における相互メディアキャラバン実施(9社) <p>○九州観光推進機構との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・29年度下期観光素材説明会・相談会(5月22日 広島市) 参加社数 24社 参加人数 59名 旅行会社セールス 4社 ・九州沖縄春の大観光展(2月3日～4日) イオンモールにおける観光イベント出展 メディアキャラバン実施(5社)
<p>(2) 関西・中部エリア誘客対策事業</p>	
	<p>関西・中部発の宿泊観光客が減少する中、送客力を持つキャリア等との連携した旅行商品の造成販売を強化するため、JR西日本や旅行会社と連携して、送客力のある新幹線との接続を考慮した商品造成、誘客キャンペーン等と連動した情報発信を促進した。</p> <p>また、県内旅連等民間事業者や県大阪事務所と連携したキャラバン、共同セールス、イベント展開等を通じ、熊本地震や九州北部豪雨等によるイメージ的影響の払拭を図るとともに、フェリー、航空機を活用した商品造成を促進し、誘客対策に取り組んだ。</p>

(担当：誘致)

- JR 西日本と連携した誘客キャンペーン
 - ・リメンバー九州キャンペーン(4月1日～3月31日)
旅咲ガール旅行プラン特典設定
西 Navi 掲載(8月・11月号) 各 42 万部発行
新幹線車内誌「ひととき」掲載(11月号) 7 万部発行
- 旅行会社等との連携した商品造成
 - ・メディア系旅行会社との連携
新幹線利用、バス接続旅行商品の造成支援)
 - ・近畿日本ツーリスト招請(2名)
 - ・日本旅行グループ 3 社との連携
『九州応援店頭 PR「熊本・大分キャンペーン」』実施
第1期 7月29～8月13日、第2期 9月11日～30日
- 民間事業者と連携した誘客キャラバン
 - ・県内旅連と連携したキャラバン(7月11日～12日)
メディア等訪問 6 社
- 大分県大阪事務所と連携したイベント、情報発信支援
 - ・神戸まつり出展支援(5月21日)
 - ・読売新聞広告掲載(7月31日) 近畿圏 225 万部発行
 - ・大阪市営地下鉄広告掲載(12月1日～2月28日)
掲載数:27 駅 50 面
 - ・関西 TV「おかべろ」情報発信(1月27日～2月17日)
 - ・雑誌「あまから手帖(10 万部発行)」タイアップ記事掲載
 - ・おんせん県おおいたフェア(2月16日～20日)
イオンモール京都桂川 参加市町村等:10 団体 33 名
 - ・おんせん県おおいた観光相談会(2月16日)
参加旅行会社数:18 社 29 名
参加市町村数:12 団体 38 名
- 九州観光推進機構との連携
 - ・29 年度下期観光素材説明会・相談会
名古屋会場(5月17日)
参加社数 40 社、参加者数 107 名
旅行会社等セールス 4 社
大阪会場(5月18日)
参加社数 32 社、参加者数 115 名
旅行会社等セールス 8 社
 - ・平成30年度上期観光素材説明会・相談会
大阪会場(9月12日)
参加社数 40 社、参加者数 137 名
旅行会社等セールス 8 社
名古屋会場(9月13日)
参加社数 33 社、参加者数 82 名
旅行会社等セールス 3 社

(3) 東日本エリア誘客対策事業

(担当：誘致)

熊本地震以降、観光客の回復が遅れている首都圏を中心とした東日本エリアにおいては、イメージ的影響の払拭に向けたツーリズムEXPOジャパン等の大型イベントへの出展、テレビや各階層をターゲットにした専門誌等メディアを活用した効果的な情報発信を県東京事務所と連携して実施した。

また、主要な観光流入導線である航空機を利用した旅行商品造成・販売に積極的な旅行会社、航空事業者との連携強化を図り、商品の造成・販売、プロモーションを展開し、誘客促進に取り組んだ。

○大型イベント等出展

- ・ツーリズム EXPO ジャパン2017出展(9月21日～24日)

大分市、別府市、六郷満山と共同出展

来場者数 191,577名、大分ブース来場者数 約4,000名

旅行会社との商談件数 9件

業界日における、メディア、交通事業者等の来場 50件超

- ・地獄蒸し祭り in 東京タワー2017 出展(11月25日～26日)

- ・ひなまつり Party2018 出展(3月3日)

○大分県東京事務所との連携

- ・雑誌社等メディアによる取材、情報発信支援

ビックカメラビジョンでのシンプロCM放映(4月28日)

小学館「サライ」取材支援(5月26日～28日)

集英社「MORE」取材支援(9月)

文藝春秋「CREA」取材支援(2・3月号掲載)

- ・首都圏ランド社の商談会参加

アジアインバウンド研究会(ISO)商談会(6月15日)

商談社数 22社

- ・坐来サロンの開催による情報収集、連携強化

○九州観光推進機構との連携

- ・29年度下期観光素材説明会・相談会東京会場(4月27日)

参加社数 44社 参加者数 195名

旅行会社等セールス 10件

- ・30年度上期観光素材説明会・相談会東京会場(8月29日)

参加社数 36社、参加者数 178名

旅行会社等セールス 5件

○旅行会社、航空事業者等との連携

- ・KNT 国内大交流コンベンション参加(7月13日)

KNT 支店等参加数 71所属 商談件数 7件

○航空事業者(JAL、ANA)や旅行会社と連携した誘客促進

- ・航空会社機内誌掲載(3回)

翼の王国(6月、9月) SKY WARD(10月)

- ・首都圏発の航空利用旅行商品の充実

- ・由布院温泉観協会と連携した情報発信の強化

		<p>富裕層向け観光情報の発信 高速バス(大分空港⇄由布院)、タクシー利用の促進</p>
<p>(4) 団体誘客対策事業</p>		
<p>① MICE誘致の 推進 (担当：誘致)</p>	<p>MICE 誘致の窓口として、大分県 MICE 誘致協議会構成団体と連携し、団体や企業情報の収集や MICE 誘致支援に取り組んだ。 また、インバウンド誘致対策事業と連携して、海外からの MICE 誘致を促すため、インセンティブの提供等も含めた誘致ツールを検討するとともに訪問セールスを実施し誘致を推進した。</p> <p>○MICE誘致・開催支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護倫理学会(5月20日～21日)630人泊 ・JHPS 研究発表会・学術大会(6月28日～30日)830人泊 ・日本四下肢救済・足病学会(10月6日～8日)511人泊 ・iSUC 別府大会(11月15日～17日)1960人泊 ・The 2018 International Conference on Artificial Life and Robotics(2月1日～4日)519人泊 ・日本病院総合診療医学会学術集会(3月2日～3日)500人泊 <p>○インセンティブツアーの誘致促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外誘致アドバイザー(日盟国際)と連携したセールス活動 <p>○商談会参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回九州 MICE 商談会への出展(1月31日) ・ファミトリップ実施(2月1日～2日) 5 各国(中国、フィリピン、シンガポール、フランス、オランダ)の旅行会社 5 名 ・国際ミーティングエキスポ(IME2017)への出展(2月28日) 	
<p>② 教育旅行誘致の 推進 (担当：誘致)</p>	<p>九州内の近県、広島を中心とした中国地方、大阪、京都、兵庫といった関西以西のエリアを主要ターゲットとして、教育旅行を取り扱う旅行会社や学校関係者等の招聘やセミナーの受入、教育旅行誘致協議会と連携したセールスを実施するなど誘客に取り組むとともに、HP改修やセールスツールの充実を図った。</p> <p>○九州観光推進機構との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州7県合同修学旅行説明会・相談会参加 参加学校数 53校、参加人数 61名 商談会参加旅行会社数 88社、参加人数 151名 岡山会場(8月3日) 参加者 32名 名古屋会場(8月4日) 参加者 47名 大阪会場(8月17日) 参加者 53名 東京会場(8月18日) 参加者 80名 ・九州7県合同による教育関係者キャラバン(10月4日～6日) 大阪府(大阪市)中学校 3校、岡山県(倉敷市)中学校 4校 	

		<p>香川県(丸亀市)中学校 4校、関西エリア旅行会社 5社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近畿、山陽エリア中学校教職員の招聘(12月24日～26日) ・第2回九州教育旅行ふっこうセミナー参加(3月1日～2日) <p>○旅行会社等セールス展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州中四国エリア <ul style="list-style-type: none"> 鹿児島(4月28日) 2社 広島(8月2日) 4社 高松、松山(9月12日～13日) 8社 ・関西エリア <ul style="list-style-type: none"> 大阪、神戸(8月16日) 4社 大阪、京都スポーツツーリズム関係旅行社セールス(11月27日～28日) 10社 ・倉敷、岡山、福山の中学校と旅行社セールス(11月29日～30日) 3校、9社 <p>○「ザ・農泊シンポジウム in 発祥の地」の開催(1月27日) 安心院町文化会館 参加 177名</p>
(5) 空港利用促進事業		
<p>① 情報発信・受入環境整備</p> <p>(担当：地域)</p>	<p>空港利用者の県内周遊を促進するため、二次交通の環境整備に向けて、タクシーを活用した実証実験を行った。</p> <p>○二次交通整備に向けた実証実験(9月1日～12月31日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国東半島祈りのツーリズム実証実験」(再掲) 国東半島祈りのタクシー運行(空港⇄大分・別府・由布院) 利用実績 5件 14名 	
<p>② 航空会社との連携促進</p> <p>(担当：誘致)</p>	<p>大分空港就航の航空会社と連携し、各社の持つ特性を活かした効果的な情報発信や県内周遊型の旅行商品の造成・販売を促進するとともに、主要な発地となる首都圏での誘客プロモーションを展開した。</p> <p>○航空事業者と連携した情報発信、商品造成・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JAL WEB プロモーションの実施(5月～) <ul style="list-style-type: none"> 「on trip JAL」大分県特集ページ設定、バナー掲載 メルマガ、SNS等を通じた発信 ・Jetstar ターゲティング広告の実施(6月1日～7月15日) <ul style="list-style-type: none"> 広告表示回数 34,287,369回 期間内搭乗者数増減(前年比) 2,104名増 ・ソラシドエアファミリートの実施(9月19日～20日) <ul style="list-style-type: none"> 機内放映映像の撮影(CAの周遊旅行風景) ファミリートで取材した「CAが巡る大分旅行紀」放映(11月) 機内WiFiサービス及びYouTubeでの配信開始(2月～) ・IBEX ファミリートの実施(10月23日～24日) <ul style="list-style-type: none"> ファミリートで取材した「CAが巡る大分旅行」記事掲載 IBEXのHP、福利厚生事業者HPと連携した大分県特集掲載 ・ANA と連携した「大分県特集」プロモーションの実施(11月～) <ul style="list-style-type: none"> ANA SKY WEBでの大分県特集ページ掲載 機内誌「翼の王国」等による情報発信 	

IV 広域観光連携の推進

(1) 東九州軸・九州横断軸連携事業

① 東九州軸連携誘客

(担当：誘致)

宮崎県や九州観光推進機構等と連携した誘客キャンペーンやメディアを活用したプロモーションを展開し、東九州自動車道開通以後、順調に推移している九州各県や山口・広島を中心とした中国地方からの観光誘客を促進した。

また、インバウンド対策の一環として、広域観光周遊ルート(東九州ルート)の活用促進について、観光庁と連携して地元意識の醸成に取り組んだ。

○東九州広域観光推進協議会の取組

- ・「九州よかよかドライブパス」(7月15日～12月17日)

利用者登録件数 110,825件

- ・じゃらんネットを活用した情報発信

特集ページ設定、ステッカーラリー

- ・メディアキャラバン、旅行会社セールス展開

メディア訪問 13社 旅行会社セールス1社

○広域観光周遊ルート(東九州ルート)の活用促進

- ・広域観光周遊ルートシンポジウム開催(11月17日)

「東九州ルートの打ち出し」

「東九州コースの磨き上げ～地域は何をすべきか」

② 九州横断軸連携誘客

(担当：誘致)

九州横断3県(大分・熊本・長崎)が連携して、テーマ設定(温泉・火山・ジオパーク、世界に誇る歴史文化、多彩なグルメ)と連動した観光素材情報の発信やセールス活動に取り組んだ。

また、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」とあわせて、県内のキリシタン関連観光素材を含む周遊ルートの商品造成・販売支援を行い、かつて九州観光のゴールデンルートと称された九州横断軸観光の再興を促進した。

○九州横断長崎・熊本・大分広域観光振興協議会での取組

- ・協議会幹事県(大分県)を中心に総会を開催(6月5日)

- ・テーマ旅行「潜伏キリシタン関連遺産」商品造成支援

商品造成:4社 10商品(催行46本、送客570名)

- ・旅行会社の招請(11月1日～3日)

キリシタン関連遺産を巡る旅行コース素材紹介

招請旅行会社 5社

- ・協議会ホームページ(九州横断ゴールデンルート)の充実

SEO対策、掲載内容の充実

- ・九州観光推進機構との連携促進

29年度下期九州観光素材説明会(全5会場)で共同PR

(2) 広域観光推進組織連携事業

(担当：誘致)

九州観光推進機構と連携した旅行会社向け商談会や誘客プロモーションを実施したほか、その他広域連携組織や各観光連盟等との相互連携を図り、相互交流の促進など連携メリットを活かした効率的な誘客対策に取り組んだ。

○九州観光推進機構との連携(再掲)

・29年度下期観光素材説明会・相談会

東京会場(4月27日) 参加社数44社、参加人数195名
名古屋会場(5月17日) 参加社数40社、参加人数107名
大阪会場(5月18日) 参加社数32社、参加人数115名
広島会場(5月22日) 参加者数24社、参加人数59名
福岡会場(5月30日) 参加社数30社、参加人数136名

・30年度上期観光素材説明会・相談会

東京会場(8月29日) 参加社数36社、参加人数178名
大阪会場(9月12日) 参加社数40社、参加人数137名
名古屋会場(9月13日) 参加社数33社、参加人数82名
福岡会場(9月27日) 参加社数29社、参加人数152名

・九州教育旅行ふっこうセミナー開催

大分会場(3月1日～2日) 参加社数6社 参加人数41名

○九州運輸局や各県観光連盟との連携

- ・九州地域の日本版DMO候補法人との意見交換会参加
- ・九州沖縄観光連盟等連絡会議事務局長会議開催(日田市)

○九州運輸局や日本観光振興協会等との連携

- ・九州地域の日本版DMO候補法人との意見交換会参加
- ・日本観光振興協会(企画委員会委員)視察受入(11月20日)
7月豪雨による被災状況及び観光の実情等の意見交換

V インバウンド誘致対策事業

急速に経済発展を続ける東アジアや東南アジアを主なターゲットとして、本県の特徴を生かし、国・地域の特性や旅行ニーズに応じたアプローチによる誘客を促進した。

また、RWC大分開催に向けた受入宿泊施設等の拡充や受入体制を強化するとともに、欧米豪向け観光情報の発信や観光素材の開発、セールス活動など、新たなターゲット（欧米豪）からの誘客促進に取り組んだ。

(1) アジアにおける国（地域）別対策

① 韓国対策

(担当：誘致)

定期航空便を有効に活用して継続した誘客ができるよう、旅行博や商談会等への出展、プロモーションによる観光客の拡大を図った。

リピート客の増加に伴う観光素材ニーズの多様化に対応するため、誘客アドバイザーと連携して積極的に現地情報の収集を行い、新たな素材の提供、情報発信に取り組んだ。

○旅行博覧会出展、情報発信

- ・ハナツアー旅行博覧会(6月8日～11日)出展

県内参加関係者 12団体 17名 来場者約10万人
旅行新聞での大分関連記事掲載

- ・クレアソウル事務所との連携

ABC クッキング大分料理体験イベント参加(8月5日)
参加者数 30名

- ・モードツアー旅行博覧会出展(11月16日～19日)

県内参加関係者 3団体 4名 来場者 73,800人

- ・旅行新聞への記事掲載(11月)

○商談会出展、セールス活動

- ・JNTO ソウル商談会(6月7日)

県内参加関係者 14団体 19名

参加旅行社数 110社 195名 商談件数 9件

- ・JNTO 釜山商談会(9月7日)

県内参加関係者 5団体 9名

参加旅行社数 61社 106名 商談数 9件

旅行会社セールス 11件

- ・国内の韓国旅行会社へのセールス 2社(7月7日)

- ・九州観光説明会・商談会出展

ソウル会場(11月28日)

県内参加関係者 7団体 8名 旅行社数 69社 144名

釜山会場(11月30日)

県内参加関係者 8団体 9名 旅行社数 48社 84名

旅行会社セールス 8社

○九州オルレの活用促進

- ・第1～3回九州オルレ認定地域協議会への参加

- ・県内の新たなコース(佐伯市大入島)認定支援

○海外誘致アドバイザー(松村氏)との連携

<p>② 台湾対策 (担当：誘致)</p>	<p>急速な個人旅行化が進行するとともに、さらなる誘客が期待できるため、現地誘客アドバイザーや JNTO、九州観光推進機構や県内市町村等と連携した商談会出展や航空会社や旅行会社等を対象としたファミトリップ、効果的なプロモーションを展開し、現地での知名度向上と誘客を促進した。</p> <p>また、県教育庁や市町村、教育旅行誘致協議会との連携を強化し、台湾教育行政及び学校関係者へのセールス活動の実施、招請や視察、学校交流の受入環境の充実に取り組んだ。</p> <hr/> <p>○旅行博出展、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ATTA 台中国際旅行博覧会出展(6月8日～12日) 来場者約14万6千人 商談件数12件、セールス5社 ・愛媛県連携VJファミトリップ(8月4日～8日) 旅行会社 1社1名、メディア 1社1名 ・九州横断三県(長崎・熊本・大分)連携セミナー開催 BtoBセミナー(10月17日) ・第25回台北国際旅行博(ITF2017)(10月27日～30日) 現地旅行会社と連携した旅行商品の販売、観光PR実施 ・メディア情報発信 <p>○商談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州観光推進機構主催商談会(7月25日～27日) 台北、高雄、台中の3都市商談件数 27件 ・大分県単独商談会(9月4日～6日) 台北、高雄、台中3都市で大分県の単独商談会開催 県内事業者等参加者23団体 42名 商談社数 台中39社、高雄28社、台北61社 ・第25回台北国際旅行博(ITF2017)商談会(10月26日) <p>○台湾観光プロモーション出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大分県のタベ」における観光ブース出展(11月10日) <p>○海外誘致アドバイザー(日盟国際商務有限公司)との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社へのセールス活動支援、情報収集 ・商談会、プロモーション出展等の運営
<p>③ 香港・中国対策 (担当：誘致)</p>	<p>リピーター、個人旅行の比率が高く日本文化への関心も高いことから、海外誘客アドバイザーと連携して、市場動向にあわせた効果的なセールス展開、現地メディアを通じた旬な情報の発信、ブロガー招請による個人客の誘客に取り組んだ。</p> <hr/> <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県連携VJファミトリップ(8月4日～8日) メディア 1社2人 ・九州観光商談会(8月29日～30日) 商談件数 香港10件 広州8件 <p>○大分県海外親善大使との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・別府麵館における香港プロモーション(11月2日～3日) 食を通じた物産・観光展

	<p>○ブLOGGER招請、メディア連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地メディア(U-Life Style)と連携したブLOGGER招請 県内3コース設定(11月9日～12日)50本のブログ記事掲載 ・長空出版取材招請 香港で主要な観光ガイドブックの編集者を招請 <p>○海外誘致アドバイザー(三浦氏)との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社へのセールス活動、情報収集 旅行会社等セールス 15社
<p>④ タイ対策 (担当：誘致)</p>	<p>個人客を中心に訪日観光客が急速に増加しているため、日系旅行会社との連携したWEBを活用した情報発信、旅行博(TITF)への出展など、効果的なプロモーションを展開して現地での知名度向上に取り組んだ。</p> <p>また、現地海外誘客アドバイザーと連携し、現地旅行会社とのネットワーク構築、Facebook開設等情報発信の強化に取り組んだ。</p> <hr/> <p>○日系旅行会社と連携した誘客、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HISタイランドと連携した情報発信 facebook、LINEを活用した観光情報・旅行商品情報発信 (毎月2回発信) シェア474件、商品クリック数2,259件(4月～8月) ・インセンティブツアー誘致受入(9月～12月)計13回 980人 <p>○旅行会社ファムトリップ(9月23日～27日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地旅行会社 4社5人(インセンティブツアー・FIT) <p>○旅行博覧会出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイ国際旅行博覧会(TITF)出展(2月7日～11日) ・商談会(2月8日) 商談旅行会社等8社 <p>○熊本、長崎との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディア招請(10月～11月) 3社「Travellers companion」「weekend」「maeban」 ・現地での一般市民向けセミナーの開催(12月2日) <p>○海外誘致アドバイザー(Ms.Thitima)との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行社セールス 24社 ・現地旅行博での情報発信 FITフェア(9月22日) トラベルフェア in チェンマイ(1月19日～23日) ・現地での大分県Facebookページ開設(4月～) 投稿75回、フォロワー数4,680名 ・現地人気YouTuber招請(1月19日～23日) YouTube画像4本制作、掲載 視聴回数25万回
<p>⑤ ベトナム対策 (担当：誘致)</p>	<p>急速な成長を遂げており、大幅な伸びが期待されることから、日系旅行会社と連携したプロモーションの実施、主力旅行会社やランドオペレーターの招請、アジアインバウンド観光振興会(AISO)との連携した県内関係者向けセミナーの開催など、今後本格化する誘客に向けた環境整備に取り組んだ。</p>

		<p>○旅行博覧会・商談会への出展、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VITM2017(ベトナムインターナショナルトラベルマート) 出展(4月6日～9日) HISによる九州ツアー造成、販売(6月催行済) ・FEEL JAPAN inVietnam2017 出展(7月15日～16日) HISが大分県を含むツアー募集を実施 ・現地メディア、旅行会社セールス 8社 ・JNTOと連携した商談会への出展 ハノイ商談会参加(10月25日) ホーチミン商談会参加(1月25日) ・VITM2018(ベトナムインターナショナルトラベルマート) 出展(3月29日～3月31日) <p>○アジアインバウンド観光振興会(AISO)との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッション形式セミナー開催(11月16日) <p>○ファムトリップの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在京ランドオペレーター招請・商談会(11月16日) ・エクスカージョン(11月17日～18日) ・ベトナムの旅行会社招請(1月31日～2月4日) 現地(ホーチミン)旅行会社5社を招請、県内視察
--	--	---

(2) ラグビーワールドカップに向けた欧米対策強化事業

<p>① ガイドブック・SNS等を活用した魅力発信 (新) (担当：誘致)</p>	<p>RWC2019 大分開催を見据えて、ミシュラングリーンガイド(WEB)やラグビー強豪国へのSNS等による情報発信、媒体を活用した積極的なプロモーションを行い、大分県観光の知名度向上を図った。</p>	<p>○情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多言語ホームページの充実 フランス語サイト(www.onsen-oita.fr)新設 ラグビー強豪国向け情報発信 ・外国人向け英語情報サイト「Gaijin Pot」での情報発信(3月～) ・ミシュラングリーンガイド(WEB)制作 事前取材(6月14日～19日)、公開(12月～) ・英字フリーペーパー「メトロポリス(10月号)」記事掲載 ・TIC 京都、東京との連携 パンフレット設置(5月～6月)
<p>② 各県連携による旅行会社・メディア対策(新) (担当：誘致)</p>	<p>RWC観戦観光ルートの構築に向け、九州各県と連携した欧米豪等旅行会社やメディアの招請を実施するとともに、東京や京都などのいわゆるゴールデンルートからの誘客を図るため、東京都や航空会社等と連携した導線づくりに取り組んだ。</p>	<p>○強豪国等向けプロモーション、セールス活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライオンズ開催会場でのPR(6月17日～18日) ・ニュージーランドの旅行会社セールス 3社 ・大分会場等試合実施国に対するプロモーション

		<ul style="list-style-type: none"> ・RWC 公式旅行代理店(OTA)セールス等 県内視察受入 ロンドンでのワークショップ参加(11月9日～10日) イギリス、フランスのOTAセールス(2月12日～17日) ・JAPAN DAYでのプロモーション実施(2月25日) ・おんせん県おおいたホテルバンクの推進 大分県内の宿泊施設客室提供の促進、OTAとの調整 ○九州内開催地(福岡・熊本・大分)との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・フランスOTAクラー招請(3月) ○JNTO ロンドン事務所との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・RWC 開催自治体対象セミナー、商談会(5月10日～11日) イギリス大会における自治体の取組事例 取扱旅行会社の動き等 ・旅行会社セールス ロンドン3社、パリ2社 ○九州観光推進機構との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・ラグビー強豪国(英、豪)を含むOTA招請 参加OTA4社(2月～3月) ○RWC 公式旅行代理店(OTA)の県内視察受入 <ul style="list-style-type: none"> ・オールブラックスツアーズ(9月7日～8日) ・グループクラー(10月18日) ・ガリバーズスポーツトラベル(12月4日、2月22日～23日) 試合会場、県内観光地視察 ○東京都との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・トラベルライター取材招請(11月29日～12月1日)
--	--	--

(3) 訪日教育旅行誘致推進事業		
	<p>(担当：誘致)</p>	<p>誘客が期待できる国々の教育行政や学校関係者、旅行会社に対するセールスなど誘致活動に取り組んだ。</p> <p>また、県教育庁や学校関係者、市町村、教育旅行誘致推進協議会等との連携を強化し、学校交流の円滑な受入調整の対応や地元の受入態勢の強化を図った。</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○現地説明会・セールス等誘致活動 <ul style="list-style-type: none"> ・JNTO 台湾教育旅行説明会(6月20日～22日) 教育関係者セールス 高雄市、台北市関係者(6月19日、23日) ・台湾国際教育旅行プレゼンテーション(8月8日～11日) 旅行会社セールス 台中市4社(8月9日) ・大分県単独商談会開催(9月4日～6日) 学校関係者セールス(9月4日)1校 ・VJ 日台教育旅行交流会参加(10月17日) ・教育旅行関係者招請 台湾教育旅行関係者(10月17日～21日) ・県内市町村と連携した台湾教育旅行誘致セールス

		<p>(12月18日～21日)</p> <p>学校セールス 台中市4校、台南市3校、台北市1校 旅行会社セールス 台中市4社、台南市2社、台北市2社</p> <p>○情報発信ツールの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪日教育旅行パンフレット制作、既存パンフレット増刷 <p>○県内小中学校・高等学校との交流推進、受入支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校との交流 <ul style="list-style-type: none"> 中国(山東省)小学校(1校) 中国(江蘇省)小学校(3校) 韓国(ソウル市)小学校(1校) ・中学校との交流 <ul style="list-style-type: none"> 中国(山東省)中学校(1校) 中国(江蘇省)外国語学校(1校) 韓国中学校(1校) ・県立高校との交流 <ul style="list-style-type: none"> 台湾高級中学校(7校) 韓国職業系高校(6校) ・私立高校との交流 <ul style="list-style-type: none"> 台湾高級中学(4校) <p>○学校関係者等視察受入(3件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾 三浦造船所視察 ・タイ 別府市朝日小学校視察 ・中国江蘇省江陰市教育関係者 上野丘中学校視察 <p>○農家民泊受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台湾高級中学校(4校)
--	--	---

(4) 広域連携・情報発信事業

	<p>(担当：誘致)</p>	<p>効果的な複数県を跨ぐ広域連携事業(VJ事業)を活用して、各広域観光ルートの形成、招請事業、情報発信に取り組んだ。</p> <hr/> <p>○広域連携商談会、旅行博出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VJEATM(ビジットジャパンイーストアジアトラベルマート) (6月27日～28日) 商談社数 20社 ・九州インバウンド促進商談会(7月7日) 商談社件 33件 ・VJTM(ビジットジャパントラベルマート)(9月21日～23日) 商談社件 20件 ・ツーリズム EXPO ジャパン 2017 ランドオペレーター商談会 (9月21日～23日) 商談件数 10件 ・九州横断三県(長崎・熊本・大分)連携セミナー開催(台南市) BtoBセミナー(10月17日) ・第25回台北国際旅行博(ITF2017) 商談会(10月26日) ・第25回台北国際旅行博(ITF2017) 出展(10月27日～30日) 現地旅行会社と連携した旅行商品の販売、観光PR実施 ・VJ ASEAN,INDIA Travel Mart2017 出展(11月29日～30日)
--	----------------	--

		<p>商談件数 19社(5か国)</p> <p>○メディア等情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県連携ファムトリップ(8月4日～8日) 香港メディア 1社、台湾メディア 1社、台湾旅行会社 1社 ・愛媛県と連携した香港・台湾向け周遊リーフレット制作 繁体字 1,400部・英語 1,400部 ・北九州市、宮崎県と連携した東九州・ウェルネスツーリズム PR 韓国ブロガー(2名)、旅行会社(4社)招請 ・熊本県、長崎県と連携したメディア招請(10月～11月) タイムメディア 3社 ・タイ現地での一般市民向けセミナーの開催(12月2日) 参加者 72名 ・福岡県と連携した九州オルレ新コース PR 招請(3月10日) 韓国メディア(7社)、旅行会社招請(4社)、済州オルレ(1名)
--	--	--

VI ツーリズム推進態勢強化事業

(1) 総会の開催

(担当：経営)	会員の総意に基づき、ツーリズムおおいたの事業を推進するため、通常総会を開催し、前年度の事業報告や決算報告、新年度の事業計画案、収支予算案、任期満了に伴う役員選任などの承認を得るとともに、大分県のツーリズム振興に特に功績のあった団体・個人に対してその功績を称え、表彰を行った。
	<p>○総会開催(6月16日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加数 203人(うち委任状110名) ・任期満了に伴う理事選定 <p>○臨時理事会開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・任期満了に伴う役員改選 会長、筆頭副会長、副会長の選任

(2) 理事会の開催

(担当：経営)	通常理事会は、年3回(6月、10月、3月)開催した。
	<p>○開催状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回理事会(6月2日) ・第2回理事会(10月25日) ・第3回理事会(3月14日)

(3) 運営会議及び事業企画委員会の開催

(担当：経営) (担当：地域)	事業企画委員会においては、豪雨対策や県版DMO組織として大分県観光の中核的役割を担えるよう、事業企画提案や対策協議を実施した。
	<p>○事業企画委員会の開催(10月3日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豪雨災害からの復興対策 ・DMO候補法人としての取組状況、方向性 ・次年度事業予算内容等を議論 <p>○旅行商品検討会の開催(1月11日)(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モニターツアー商品や本稼働に伴う商品内容協議、意見交換

(4) 財政基盤の強化(収益事業)

(一部新) (担当：経営) (担当：地域)	公益事業の推進、組織の運営体制確保に必要な財源を確保する観点から、おんせん県グッズ販売の販路拡大、WEB販売システムの構築に取り組むとともに、広告媒体の提供など、新たな収入増加に向けた環境整備に取り組んだ。
	<p>○おんせん県グッズ販売、広告収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グッズ等販売収入 約7,500千円 ・広告収入 230千円 <p>○WEB販売システム「テッパン！おおいた」構築、稼働(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売システムの試行運用開始(12月～) ・キュレーション(WEBマガジン)運用開始(12月27日～) ・旅行商品販売サイト試行運用開始(1月19日～) ・物販サイト試行運用開始(2月28日～) ・地域観光協会等での既存商品との調整、連携、代理販売協議

		<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設等での販売、ホームページリンク等の調整 ・旅行会社等との提携調整 ・販売システムの本稼働開始(3月7日～) <p>○マーケティング調査の共同実施等の提案</p>
(5) 会員との連携強化		
<p>(担当：経営)</p>	<p>「ツーリズムおおいたNEWS」を発行し、各種事業の実施予定や実施状況、観光動向など迅速かつきめ細かな情報提供を行うとともに、観光関係事業者等の相談対応を通じた新規会員の加入促進等に取り組んだ。</p>	<p>○「ツーリズムおおいたNEWS」の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会等開催の事前周知により参加を促進 ・セミナーや講演会情報の会員への情報発信の充実 ・発行状況 58号(7月31日) 59号(10月5日) 60号(12月26日) <p>○生産性向上に向けた連携の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の事業拡充等に伴う相談対応、県庁協議における支援 <p>○会員数の状況</p> <p style="text-align: center;">正会員 246 準会員 37</p>
	(6) 組織の機能強化と連携推進	
<p>(新)</p> <p>(担当：経営)</p> <p>(担当：地域)</p> <p>(担当：誘致)</p>	<p>大分県観光のプラットフォームとしての機能強化にあわせて、組織・人材の専門性の向上を図った。</p> <p>また、観光産業には多様な業態が関わっていることから、観光業だけでなく、商工業や農林水産業など他業種との連携を強化に取り組んだ。</p>	<p>○組織・機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロパー職員採用 ・マーケティングや商品販売、地域支援機能の充実 「地域マネジメント部」を新設 国内海外誘致部門の統合による「誘致営業部」を設置 ・大分市(OASISひろば21)への移転完了(6月30日) <p>○観光マーケティング会議を通じた県内組織との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光マーケティング会議の設置、運営 ・講演や研修開催による意識醸成 ・共同マーケティングや事業実施に向けた合意形成の推進 <p>○各大型イベント開催事務局と連携した周遊促進策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民文化祭、障害者芸術文化祭における素材商品化連携 <p>○県外DMO候補法人との連携促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携手法や取組・課題解決における意見交換実施

VII 豪雨被害に伴う観光緊急誘客対策事業

九州北部豪雨や台風災害の被災地を中心とした観光客の減少に歯止めをかけるため、旅行需要回復に向けた緊急対策として、時期をとらえた観光客の誘客対策に取り組んだ。

(1) 観光緊急誘客対策

① 情報発信 (担当：地域) (担当：誘致)

被災地を中心とした県内観光地への交通アクセス、受入態勢等の地域の適切な情報発信を行うとともに、民間事業者や県の県外事務所と連携した県内イベントやキャンペーン情報、Web を活用した旅行需要拡大に向けた観光情報等の発信に取り組んだ。

また、韓国からの観光客の維持継続を図るため、ブロガーや現地メディア招請を行い、現地での情報拡散を図った。

○情報発信による風評被害対策

- ・復興ポータルサイト「今日も元気に営業中！」を設置(再掲)
「お得な情報」「宿泊情報」「交通アクセス」情報等の正確な情報発信を展開
- ・サイト(google、Yahoo!)、SNS(Facebook)によるWEB 広告
- ・インスタグラムを活用したフォトコンテスト実施
投稿数 夏 107 件 秋 626 件 冬 631 件
- ・新聞広告掲載
西日本新聞(7月20日、8月15日)、読売新聞(8月6日)
- ・道の駅フリーペーパー「旅案内(秋冬号)」広告掲載
- ・大分県外事務所(福岡・大阪・東京)と連携した観光PR
福岡 西日本リビング新聞広告、アヴァンティ等への記事掲載
大阪 主要駅構内ビジョンジャック
東京 オズモール、オズマガジン等への記事掲載
MXTV による TV 番組制作、放送

○旅行会社店舗ジャック

- ・旅連と連携したJTB主要店舗における大分キャンペーン実施
店舗装飾と成約者プレゼント 42 店舗(首都圏、関西、福岡)
- ・西鉄旅行店舗における大分キャンペーン
店舗装飾 4 店舗(福岡主要店舗)

○イベント出展

- ・福岡情報誌「アヴァンティ」関連イベントプロモーション
女子旅 EXPO(9月14日)での情報発信 参加者 200 名
モニターツアー実施、誌面、SNS 等を通じた情報発信
- ・イオングループと連携した観光PR
レイクタウン(越谷市)での観光PR(9月16日～18日)
イオンモール香椎浜での観光PR(10月6日～9日)

○オンライントラベルとの連携

- ・じゃらん九州(2017年11月号)フォトジェニック特集(4頁掲載)
- ・じゃらん九州(2018年1月発行、3月号)
プレミアムフロイデー特集(各2頁掲載)

	<p>○海外FIT向け情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・韓国パワーブロッガー・メディア招請(計3回実施) ブロッガー 7名 メディア等 5社
<p>② 交通対策 (担当：誘致)</p>	<p>JR 久大線鉄橋倒壊に伴う観光客の交通導線の確保対策として、高速バス事業者や関係旅行会社と連携した旅行商品の造成を支援するとともに、マイカー利用者の県内周遊促進を図った。</p> <p>○旅行会社、交通事業者等と連携した商品造成等支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス利用商品造成支援(8月～3月) 福岡等九州内発商品 2商品 ・D&S列車「ゆふいんの森号」利用商品の受入(8月26日) ・航空事業者と連携した旅行会社招請(9月25日～26日) 日田・由布院エリア素材研修 参加旅行会社 9社 17名 <p>○マイカー利用客の周遊促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州 Walker WEB 版特集(27記事作成) ・九州 Walker 大分専用冊子の作成(10,000部)
<p>③ 旅行会社等と連携した誘客対策 (担当：誘致)</p>	<p>早期の観光需要回復に向けたメディア系旅行会社等と連携した団体バスツアー商品の造成支援、旅行会社や交通事業者、宿泊予約サイト事業者や Web 活用旅行商品展開事業者等と連携した個人・小グループ向け誘客キャンペーン、旅行商品造成の支援、プロモーションを実施し、県内観光の復興に取り組んだ。</p> <p>○メディア系旅行会社と連携した商品造成支援(8月～3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福岡等九州内発商品 9商品 ・広島、四国、首都圏等の九州外発商品 7商品 <p>○リアル系旅行会社と連携したプロモーション(9月～3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本旅行との商品造成 4商品 ・クラブツーリズムとの商品造成 6商品 ・エイチ・アイ・エスとの商品造成 7商品 <p>○航空事業者(JAL、ANA)と連携した誘客促進(11月～3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・由布院温泉観光協会におけるプロモーションとの連携誘客 首都圏、関西発商品の造成 2商品 ・高速バス(大分空港⇄由布院)利用の促進 <p>○福利厚生事業者(リロクラブ)と連携した誘客(8月～3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用特別グレードアッププランを造成 15プラン ・リロクラブ会員専用WEBに大分専用ページ作成 <p>○オンライントラベルとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽天トラベルとの連携 「おんせん県 100万ポイント山分けキャンペーン」実施 楽天WEB「旅頃」内に大分県特集ページ設定 WEBによる周知展開 夏休み対策(8月7日～31日) 秋シーズン対策(9月1日～10月31日) 宿泊実績 232,662人泊 ・じゃらんネットとの連携 自社発行クーポンを活用した応援キャンペーン実施

		<p>ポイントプレゼントキャンペーン実施(抽選) WEB「ふるさとキャンペーン」トップページにバナー設定 WEBメルマガ配信等による周知展開 夏休み対策(8月4日～31日) 秋シーズン対策(9月1日～11月30日) 宿泊実績 382,900人泊</p> <p>○プレミアムフロイデー(おんせん県CM)と連動した情報発信、 誘客キャンペーンの実施(12月～3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレミアムフロイデー(CM)と連動した誘客キャンペーン実施 <p>各宿泊施設でのプレミアムフロイデー専用プランを設定 じゃらんネット(WEB)内での大分県特集ページ設定 Facebook 広告による情報発信 宿泊実績 367,613人泊(プレフロプラン 10,783人泊)</p>
--	--	---